

令和4年8月15日発行

広報“COCO ケア”

“Community comprehensive care”
Hand in Hand ～ 手を携えて ～

第8号

(公益社団法人 宮崎市郡医師会 地域包括ケア推進センター)

推進センターあいさつ

暦の上では立秋を迎えましたが、まだまだ続く暑い日々秋の涼しさが待ち遠しく感じられます。皆様におかれましては、ますますご壮健のこととお慶び申し上げます。地域包括ケア推進センターは皆様のお力添えをいただきながら、今年6月で3年目を迎えることができました。長引くコロナ禍におきましても、医療介護に関連する各団体が抱える課題解決に向け、研修会開催やICTツールの活用普及等を行っております。また、地域住民の方々への在宅療養の普及啓発のため、高齢者サロンへの出前講座や市民公開講座も計画しております。今後も皆様のニーズを把握しながら、事業を展開して参りたいと思っておりますので、ご意見やご要望などのお声をぜひお寄せください。残暑厳しき折、くれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。



★特集「知っとこう！医療介護に関わるお仕事」★ 第7回

今回は、地域の多職種協働を担う重要な機関である、宮崎市 福祉部 地域包括ケア推進課の取組みについて、保健・介護予防連携推進室から寄稿していただきました。



「健康寿命の延伸に向けた取り組みの紹介」

〇「全世代型社会保障」の実現を目指して

令和4年5月1日現在の宮崎市の高齢者人口は約11万5千人、5年前と比べて約9千人増加、75歳以上の高齢者人口では5年前よりも約5千5百人増加しており、団塊の世代が75歳以上になることがいよいよ現実味を帯びてきました。地域包括ケアシステムの構築の必要性が言われ始め、10年ほどが経過しました。専門職不足を補うことや現在従事している専門職の負担軽減を目的に、介護ロボットの導入や事務効率化を目的としたICT化、AIの活用の研究が進んでおりますが、それらの普及が一気に加速するまでには至っていない状況です。一方で、住民同士の支え合いの仕組づくりの重要性についても働きかけを行っているところですが、どこも人手不足のようです。そうは言っても、我が国の人口減少問題は避けては通れませんので、皆で知恵を出し合っていくことが求められていると考えております。

国は、国民の誰もが、より長く、元気に活躍できて、全ての世代が安心できる「全世代型社会保障」を描いています。2040年頃には、団塊ジュニア世代が高齢者となり、全世代型社会保障を実現していくためには、高齢者をはじめとする意欲ある方が社会で役割をもって活躍できるよう、とくに、予防や健康づくりを強化して、健康寿命の延伸を図ることを求めています。

そのような中、在宅で生活を続けられている高齢者の方には、現在の生活の質(QOL)をできる限り維持してもらうことが大事になると考えております。75歳以上の高齢者の方になりますと、8割以上の方が何らかの疾患を抱え通院や入院をしております。入退院をきっかけに自宅の生活に戻れなくなったというケースもある中で、在宅を望む方が少しでも長く住み慣れた自宅での生活を継続できるよ

う、医療との連携をこれまで以上に強化していきたいと考えております。

○医療リスクを考慮した疾患の重度化防止のためのケアマネジメント

介護保険制度では、在宅生活を送る高齢者が心身の状態から生活に困りごとがあり、支援なしには生活が難しい場合に、担当する地域包括支援センターの職員や居宅介護支援事業所のケアマネジャーが、転倒リスクの高い人にリハビリを勧めたり、必要な支援ができるホームヘルパーを派遣する調整をします。その際、ケアマネジメントにおいて、利用者が持つ疾患が重度化しないよう、医療での指導や指示を守ることができるような支援にも取り組んでいます。例えば次のような事例です。

事例①服薬が確実にできるための支援

退院後に医師の服薬指示がきちんと守られていない場合、どうすれば服薬できるかを検討し、ケアマネジャーが役割分担（誰が声掛けするか、誰が服薬したかを確認するか等）を支援計画の中で考えます。



事例②疾患に応じた食事ができるための支援

塩分の摂取量に制限がある場合に、塩分の制限量内の食事ができるよう、自炊する人には減塩メニューや減塩方法の提案をしたり、惣菜中心の人には、惣菜選びのポイントや冷凍野菜を使ったレンジ料理等、その方ができる方法を管理栄養士が提案する短期集中サービス（栄養プログラム）を設けています。



また、地域包括支援センター職員や居宅介護支援事業所のケアマネジャーが支援計画を立てる際、医療機関の皆様に対し、高齢者の医療的なリスクについてファクス等でお尋ねをすることがあります。具体的に言うと、血液検査の結果や疾患のコントロール状況について、情報提供をお願いするといったものです。

なぜこういったお願いをするかと言うと、在宅生活をする高齢者が、服薬や食事に関する医師の指示を適切に守ることができないと、疾患が重度化して入退院を繰り返し、要介護度が進行して、最終的にはQOLの低下につながります。そのようなことから、医療リスクを考慮したケアマネジメントに力を入れています。

○宮崎市で新たに取り組む「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」

宮崎市の高齢者の福祉や介護の担当部署として、令和4年4月1日の機構改革において、福祉部内の3課の業務を再編し、長寿支援課を廃止し、地域包括ケア推進課を新たに設置いたしました。

この課には、従来の係に加え「保健・介護予防連携推進室」を新たに設置いたしました。この室は、健康保険法の改正により実施される「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に関する業務に取り組むことを目的に新設されたものです。

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」では、これまでのメタボリックシンドローム対策中心の保健事業から、生活習慣病やフレイルの予防に介護予防事業を加えて、効果的に事業を実施していくことが求められています。

この取組は、医療情報や健診情報がデータ化されているKDB(国保データベース)システムを活用し、個人の疾患の重症化予防の支援の取組(ハイリスクアプローチ)だけでなく、各地区にある運動教室等の通いの場に出向き、高齢者に対し介護予防や健康づくりの啓発(ポピュレーションアプローチ)などを行います。

この取組を効果的なものにしていくためには、これまで以上に医療との連携が重要となります。医療機関を始めとする関係機関の皆さまには、今後もなお一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

…編集後記… 今回は、宮崎市福祉部地域包括ケア推進課の取組みについて、わかりやすくご説明いただきました。もはや避けることのできない高齢化社会へと進む中、医療と介護の連携・連絡票の使用目的や保健・介護予防の一体的実施等を知る事で、今後の医療介護連携推進の大切さを改めて実感しました。我々も医療と介護のより一層の連携に向け、取り組んで参りますので、よろしく願いいたします。



☆新規開業事業所紹介☆

このページは新しく開業された医療介護関連事業所のご紹介させていただくコーナーです。
第1回目は、「訪問看護ステーション すずり」さんです。

☆訪問看護ステーションすずり☆

管理者:今井 集一千

所在地:宮崎市淀川 3 丁目 10-12

電話番号:0985-40-2280

受入対応可能: 24 時間、小児、精神、緩和ケア、呼吸器
訪問リハ

HP:有(<https://houkansuzuri.com/survice>)

管理者から一言:

令和4年4月に大淀地区に新規開設したステーションです。たくさんの方々との繋がりを大切にしていきたい、そんな想いを込めて「訪問看護ステーション すずり」は誕生しました。現在、看護師5名、理学療法士1名の明るいスタッフで訪問させていただいております。利用者様やご家族が住み慣れた地域、ご自宅で安心して過ごすことができるよう、常に利用者様の立場に立った看護を大切にしております。24時間・365日、私たちが真心を込めて利用者様、ご家族の皆様をサポートしてまいります。



ホームページ
QR コード



*** 地域包括ケア推進センター活動報告 ***

○「第1回 宮崎市在宅生活支援サービス研修会」(Web)を開催しました。

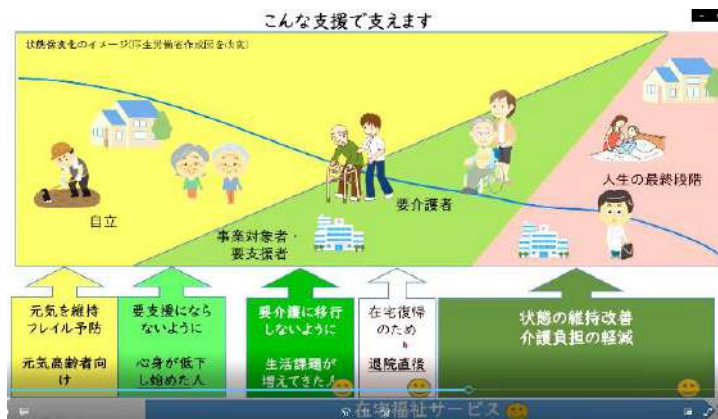
令和4年7月1日(金)19時から「できるだけ、長く、在宅での生活を送っていただくために」をテーマに、Web研修会を開催しました。講師には宮崎市地域包括ケア推進課 保健・介護予防連携推進室 室長 関本和浩氏、主査 根井千代美氏をお招きし、事例を交えて宮崎市の在宅支援サービスの利用方法などをご説明いただきました。参加者からは、「宮崎市の取組みについて知る事ができた。必要に応じて適切なサービスが受けれると良いと思う。」「退院後など状態が変化した場合に、柔軟に必要なサービスが受けられることが分かって良かった。」等のご感想をいただきました。

今後も研修会を通して、在宅生活をサポートする取組みをご紹介していきたいと考えております。

お忙しい中、たくさんのご参加ありがとうございました。



《講師の根井氏(左)、関本氏(右)》



【お知らせ】

★パンフレットの配付をしています★

- ①宮崎市・国富町・綾町在宅医療実施施設名簿 第10版
②看取りのパンフレット ～旅立ちの道しるべ～
(患者用・スタッフ用・ポスター)



ご希望の事業所は、地域包括ケア推進センター（77-9106）までご連絡ください。

★ホームページを開設しています★

地域包括ケア推進センター専用ホームページを開設しています。
センターの取り組み内容や研修案内、皆様の業務に関連したお役立ち情報を掲載しています。「こんな情報があったらいいな」「この研修案内を載せてほしい」等ご要望をお受けいたします。お気軽にご連絡ください。
ぜひ、<https://www.coco-care.com/> または右記 QR コードよりご覧下さい。



★(介護事業所向け)新型コロナウイルス感染対策等に関する相談窓口について★

介護事業所向けの新型コロナウイルス感染対策等に関する相談窓口を設置しております。ご相談は電話、メールでお受けします。メールの場合は、地域包括ケア推進センター専用ホームページ（ココケア宮崎で検索）の問い合わせフォームをご利用下さい。

(例：日常的な感染予防策、施設職員が感染した場合の対処法、ゾーニング等) について等)

なお、ホームページには「介護事業所向けの新型コロナウイルスの感染予防と管理のためのQ&A」も掲載しております。

今後の活動予定

- 宮崎医療介護連携 ICT〔通称 MICT (みくと)〕研修会の開催（訪問、Web、DVD 貸出）
※随時、ご希望お受けいたします
- 各地区の多職種連携会議等への参加
- ★医療介護連携に関する様々な相談をお受けします。お気軽にどうぞ。

開設時間

- 月～金曜日
午前 8 時 30 分～午後 5 時
- 土曜日
午前 8 時 30 分～正午
※日曜・祝日・年末年始を除く

〔発行〕公益社団法人 宮崎市郡医師会
地域包括ケア推進センター（医師会病院棟 1 階）

〒880-2102 宮崎市大字有田 1173 番地
TEL： 0985-77-9106（直通） FAX： 0985-77-9126（専用）
E-mail：care-suisin@cure.or.jp